



11/11
(水)

長島中で芸術鑑賞教室 人形浄瑠璃の世界体感

11月11日、長島中学校（石垣健二校長・89人）の芸術鑑賞教室で、淡路人形座（兵庫県南あわじ市）による公演が開かれ、生徒たちは伝統芸能を味わい人形浄瑠璃を演じる楽しさに触れました。

今回は平尾中学校の全校生徒約120人が観劇。生徒たちも演目に加わり、語り手の太夫や人形遣いを披露しました。

人形遣いの吉田史興さんによる人形浄瑠璃の紹介では、ユーモアを交えた生徒への人形遣い指導や演目の解説があり、大いに盛り上がりました。

おもづか
人形の主遣いを体験した平尾中3年の鶴長賢司さんは「合図に合わせてタイミングよく頭を動かすのが難しかった」と笑顔を見せました。



3人1組で人形遣いに挑戦する生徒たち

11/11
(水)

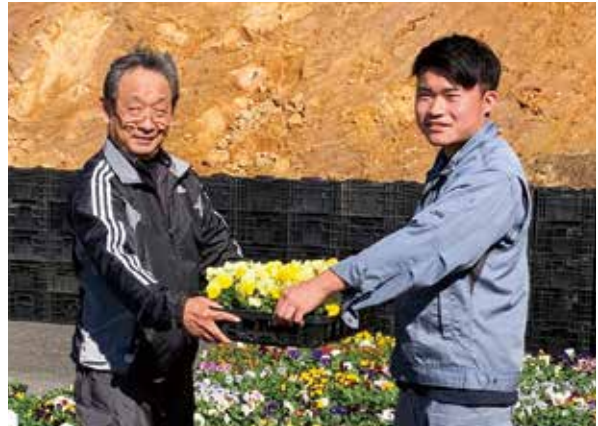
鶴翔高校が花苗を届ける 花でふるさとに恩返し

11月11日、本町出身の鶴翔高校（前田良文校長）の生徒7人がパンジーとビオラの苗1万3800株を町に届けました。

この苗は生徒たちが育てたもので、同校は出水地区のボランティア団体や学校などに苗の移植体験を実施するなど園芸技術普及に取り組んでいます。苗は本町全戸に花苗を配布する「一家一花運動」に充てられます。

3年生吉岡航輝さん（川床中）が「育苗は大変だっ

たけど、育てた花で地域に貢献し恩返しできたら」と話し町職員に苗を手渡しました。



花を通じてふるさととの交流を誓う吉岡さん（写真右）

11/13
(金)

民生・児童委員が手作りマスク寄贈 同時流行に備えて

町民生委員・児童委員協議会が11月13日から16日にかけて町内の福祉施設に手作りマスクを寄贈しました。

同会では新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、マスクの制作を呼び掛け。高齢者のかたを中心に役立ててもらおうと入所者がいる町内4施設に寄贈を申し出、タオル類とともに330枚のマスクを贈りました。

11日に寄贈を受けた特別養護老人ホーム桃源郷の本田勝郎園長は「皆さんが思いを込めて作ったマ

スクで温かい気持ちで過ごせる。本当に感謝」とお礼を述べました。



委員からマスクを受け取る本田園長